講義・実習・見学を
効果的に組み合わせた1年間の技術研修

大阪府工業技術大学講座

次代のものづくりを担う人材を養成します

第61期　研修生募集のご案内

機械工学系の必須知識・応用技術を修得
若手社員の基礎力強化と視野の拡大に役立ちます
設計・製造・調達から技術営業まで、対象者は多様です

グローバルに展開される企業間競争が激しさを増す中、いかに付加価値の高い製品を生み出すか、技術力を磨きどのような独自性を発揮するかに命運がかかっています。いつの時代でも技術を担うのは「ひと」であり、5年先、10年先を見越して、競争力を支える人材を養成することが大変重要です。
ぜひ本講座に社員をご派遣いただき、技術知識の基礎固めと視野の拡大を図ることで、次代を担う人材への成長の一助とされますようご案内いたします。

≪主　催≫　公益社団法人 **大阪府工業協会**

≪後　援≫　**大　　阪　　府**

受講のおすすめ

大阪府知事
吉村 洋文

ものづくり企業数「日本一」の大阪には、世界的にもトップクラスのシェアを誇る製品やオンリーワンの技術を持つ企業など、優れた企業が多く集積しています。こうした「ものづくりのまち大阪」を支えるのは、高度な技術や技能を有する「人材」です。創意工夫を生かした独創的かつ繊細な技術力や、自ら進んで新しい物事に取り組む「進取の精神」によって、大阪産業の更なる成長の原動力となっています。

現在、大阪経済は新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費が落ち込むなど、大変厳しいものとなっています。また、コロナ禍に加えて、人口減少により市場が縮小する中、生産性向上やスタートアップ・エコシステムによるイノベーションの創出、技術や産業の変革、さらにはDX(デジタルトランスフォーメーション)に対応できる人材の育成がますます重要となっています。

このような中、公益社団法人大阪府工業協会におかれては、次代のものづくりを担う人材の育成を目的に、「大阪府工業技術大学講座」を開講しておられます。この講座は、公立大学法人大阪府立大学をはじめ、地方独立行政法人大阪産業技術研究所や先端技術等を有する企業等のご協力を得て、多彩な講師陣のもと、1年間にわたる夜間大学講座形式で、工業技術の基礎知識から応用技術、最近の技術動向や先端技術等を内容とするもので、昭和36年の開講以来、2,600名を超える方が修了され、各方面のリーダーとしてご活躍されております。

今期も、知識の取得とともに仲間づくりのため、より多くの方々に本講座を受講いただき、今後の大阪産業の成長を担う技術者としてさらに飛躍され、大阪の産業・経済の発展に向けてご活躍されることを心から期待しております。

2020年12月

講座受講 3つのメリット

1. 幅広い技術知識の習得

設計・開発部門の方が知識を広げるのに役立つだけでなく、製造部門の方も技術的な裏付けを理解することで設備の保全や改良、新しい加工方法にも対応することができます。また、営業部門や調達部門の方も取引先や仕入れ先との折衝を進めるうえで役立つバックボーンが得られます。

2. 異分野への視野拡大

ものづくり企業を支える人材として、将来にわたってキャリアを積んでいくために専門外の知識や異業種・異分野について理解しておくことが求められます。本講座では、今まで知らなかった専門用語や未知の情報に触れることができ、今後の成長に向けた基盤をつくることにつながります。

3. 講師／訪問先企業／研修生との人脈形成

研修生は業界・仕事内容・経歴・年齢もさまざまな方が集まり、研修生同士の良い交流の場となります。また、見学研修で訪問する企業の方や大学の教授と接点を持つことは有意義です。自社の課題解決につながるだけでなく、人脈を頼って必要な情報を集めるといったことも期待できます。

「講義」「実習」「見学」３つの研修形態を組み合わせた実践型教育

習熟状況の把握、派遣事業主との連絡を密に行い、研修生をサポートします

講義科目

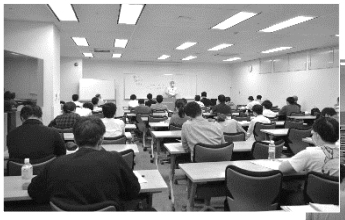
夜間112日間（月・水・金曜日）

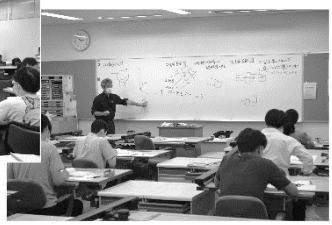
実用技術を主眼に、バランスの良い科目
編成で幅広い技術知識を修得いただきます

企業の将来を担う技術者として必ず知っておきたい工学基礎理論。材料（金属・プラスチック）や設計・製図、加工法など、機械工学系の科目を中心としつつ、電気・電子、制御、管理技術などの関連科目をバランスよく組み合わせ、幅広い技術知識が修得できるようカリキュラムを編成しています。
(総合力を身につけるため全科目必修としています)

■基礎・専門科目…22科目（106日間・計265時間）
大阪府立大学大学院の教授陣を中心に、各分野の専門家が講師を務めます。実用技術を主眼に、基礎事項から解説します。

■特別講義科目…6科目（6日間・計12時間）
企業で活躍されている方や、各分野のエキスパートを講師に招き、実務者の視点からの講義で技術者としての視野を広げます。





コロナ禍でも安心してご受講いただけるよう、ソーシャルディスタンスをとった席配置にしております。

実習科目

昼間10日間（2コース選択制）

少人数による密度の高い実技訓練。
専門の指導員より技能を修得いただきます

知識だけでなく、技能が備わっていなければ技術者とは言えません。実習では「油空圧技術」「ＮＣ旋盤」「溶接技術」「電気回路」「シーケンス制御」「機械製図」「２次元ＣＡＤ」「３次元ＣＡＤ」の実習科目を設定しています。各自の希望にあわせて２コースを選択し、受講していただきます。いずれも 10名前後の少人数編成とし、専門の指導員による研修で、体験的に実際の技術を習得します。

見学科目

平日（午後）8回・8拠点

学習効果を高める実地見学、さまざまな
分野・業種の工場、研究機関を訪問します

講義や実習で身につけた知識や技能は、実際の仕事に活かされて、はじめてその効果を発揮します。見学科目では講義内容に対応したモデル工場を訪問し、生産現場において利用されている様々な技術の姿を見学します。併せて訪問先の技術者による講義(生産技術、製品開発、改善活動など)を受け、理解を深めます。研修生にとって、普段接することのない異業種・異分野の企業や研究機関への訪問は、見聞を広めるだけでなく、今後仕事に取り組むうえで参考となるものが数多く得られることでしょう。

研修生の声

(研修生A)大学講座では、特定の分野に特化するのではなく、工学系の知識を全般的に学ぶことができます。仕事と直結する分野は仕事のなかで学べますが、どうしても見方が偏ってしまいがちでした。この講座では様々な分野の知識や考え方を学べるので、普段とは違う視点が得られ、大きな収穫になっています。

(研修生B)学生時代から工業系の勉強をしてきましたが、大学講座では学校で教わらなかった実用知識や体験談など、興味深い話を聴くことができます。はじめて学ぶ科目も、基本から教えていただけるので理解しやすいです。工場見学も、自社にはない設備や技術、発想に触れることができ、とても勉強になっています。

(研修生C)大学講座で学んだ加工技術や熱処理、表面処理などの知識が、製品開発業務でとても役立っています。勉強に集中できるようにと会社からもバックアップしていただいており、大変感謝しています。これからも、学んだことを会社の利益へと還元できるよう、知識を深めていきたいと思います。

事務局の充実したバックアップ体制

講義科目ごとに理解度をはかる試験を実施、見学科目は毎回レポートを課します。毎月初めに、出席状況と併せてテストの成績を派遣事業主にお知らせし、常に習熟状況を把握していただきます。さらに、事務局職員が訪問し、研修生の上司の方もしくは代表者との面談を年2～３回実施するなど、事務局として強固なバックアップ体制を取ってまいります。

講義科目Ⅰ〔基礎・専門科目〕

工学理論と現場技術との接点を見いだし、実務の場で役立つ幅広い技術知識を修得します（全科目必須です）

	科目名	講師	講義方針ならびに研修内容	日数（単位数）
工学基礎	数学基礎	大阪府立大学 大学院 工学研究科 機械工学 教授 三村 耕司	機械や構造物に関する種々の力学を理解するうえで必要な微分・積分についてわかりやすく解説する。 1. 三角関数　2. 指数・対数　3. 微分法 4. 積分法（不定積分・定積分）　5. 偏微分法	3日 (6単位)
工学基礎	計測工学	大阪府立大学 大学院 工学研究科 機械工学 教授 菊田 久雄	機械製作の立場を中心として、計測技術を概観する。 1. SI 単位とトレーサビリティー　2. 計測器と計測原理 3. 測定と誤差　4. 誤差の統計的な取り扱い　5. 精度について 6. 間接測定における誤差　7. データの整理　8. 最小二乗法 9. 信号処理とスペクトル解析	5日 (10単位)
力学	材料力学	大阪府立大学 大学院 工学研究科 機械工学 教授 三村 耕司	機械や構造物の設計の基礎となる設計式（強度計算式、公式）がどのようにしてできているか、またそれらをどのようにして使用するかについてわかりやすく説明する。 1. 応力とひずみ　2. 引張と圧縮　3. はりの曲げ　4. ねじり 5. 柱の座屈　6. それらの例題	7日 (14単位)
力学	構造動力学	大阪府立大学 大学院 工学研究科 航空宇宙工学 教授 千葉 正克	基本的な構造要素としての弦・棒・梁・膜・板・殻の動力学的特徴を、実験例を紹介しながら平易に講義する。 1. 構造要素　2. 航空機の構造と作用する力　3. 運動方程式 4. 振動モード　5. 振動・変位の計測　6. 遮音と防音 7. 弦・梁・膜・板の振動　8. 非線形振動	7日 (14単位)
力学	流体力学	大阪府立大学 大学院 工学研究科 機械工学 教授 高比良 裕之	水や空気などの流体の力学について、技術者として必要な基礎知識をわかりやすく講義する。 1. 流体の性質　2. 流体静力学　3. 完全流体の流れの諸定理 4. 粘性流体の流れと管摩擦　5. 管路系の損失ヘッド 6. 物体の抵抗と揚力	7日 (14単位)
力学	熱力学	大阪府立大学 大学院 工学研究科 機械工学 教授 瀬川 大資	熱機関を理解して利用するために必要となる熱力学の基礎知識を平易に解説する。 1. 熱機関と熱力学の基本　2. 仕事と熱力学の第一法則 3. 理想気体と状態変化　4. 熱力学の第二法則とエントロピー 5. ガスサイクル　6. 燃焼、燃料電池、原子力 7. 気体の流動と伝熱　8. 蒸気と蒸気サイクル、空気調和	7日 (14単位)
機械工学	機械製図	大阪府立大学 工業高等専門学校 メカトロニクスコース 教授 里中 直樹	製造現場で必要な機械製図の基礎について JIS 規格をもとに講義する。また、製図演習を行うことにより実践的な機械製図の基礎を修得する。 1. 機械製図概論と製図の基礎　2. 投影法と各種図示法 3. 寸法記入法　4. 寸法公差・はめあい・幾何公差・表面性状	5日 (10単位)
機械工学	CAD/CAE概論	大阪府立大学 工業高等専門学校 メカトロニクスコース 教授 里中 直樹	3次元 CAD/CAE について、概論、基礎理論および将来展望を講義する。 1. 3 次元 CAD 概論　2.基礎理論(形状モデリング，形状処理) 3. CAE 概論　4.基礎理論(マトリックス法，FEM)　5.将来展望	3日 (6単位)
機械工学	機械要素設計	大阪府立大学 大学院 工学研究科 機械工学 教授 石原 正行	主要な機械要素について、その設計法を説明し、実際の設計業務の際に、特に留意しなければならない点に重点を置いて講述する。 1. 要素設計の基礎　2. ねじ　3. 軸　4. 歯車　5. 軸受 6. ばね　7. カム	7日 (14単位)
機械工学	機構学	大阪府立大学 大学院 工学研究科 機械工学 教授 新谷 篤彦	多くの機械システムで運動の伝達や変換をしている各種機構の基礎的な理論と考え方、特徴と応用例および適用上の留意点について解説する。 1. 機構学に関する基礎的事項　2. 運動解析の手法 3. リンク機構　4. カム機構などの機構	3日 (6単位)
機械工学	摩擦・摩耗・潤滑	もと 大阪府立大学 研究推進本部教授 辻川 正人	摩耗現象の種類は多く、機械システムの寿命を決めてしまう。そのメカニズムを明らかにし、効果的な対処法について実例を交えて講義する。 1. 摩耗の種類とメカニズム　2. 耐摩耗性材料 3. 潤滑の理論と実際	3日 (6単位)

月・水・金曜日の午後6時～8時40分　会場／大阪府工業協会 研修室

	科目名	講師	講義方針ならびに研修内容	日数（単位数）
材料工学	金属材料	大阪府立大学 大学院 工学研究科 マテリアル工学 教授　瀧川 順庸	鉄鋼材料と非鉄金属材料の製造・加工方法、特性、用途などについて講義する。また、材料試験法について説明する。 1. 金属材料とは　2. 結晶構造と微細組織　3. 変形と加工 4. 鉄と鋼　5. 非鉄金属材料　6. 材料試験法	7日 (14単位)
	プラスチック材料	地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 物質・材料研究部 総括研究員 平野　寛	工業的な視点から、代表的なプラスチック材料の組成、特徴、用途、成形加工法、および劣化について解説する。 1. プラスチック材料総論　2. プラスチック材料各論 3. プラスチックの成形加工法　4. プラスチックの評価	3日 (6単位)
	セラミック材料	大阪府立大学 大学院 工学研究科 マテリアル工学 教授　中平 敦	強度や耐熱性に優れるエンジニアリングセラミックスと種々の機能を持つ機能性セラミック材料について解説する。 1. セラミックスとは　2. セラミックスの機械的性質 3. セラミックスの成形・焼結プロセス　4. 最近のトピックス	2日 (4単位)
加工技術	切削加工技術	関西大学 システム理工学部 機械工学科 教授　山口 智実	工作機械を使って工作物を加工し、機械の部品を製造する機械加工技術全般について説明する。また、超精密加工技術についても言及する。 1. 切削加工　2. 研削加工　3. 砥粒加工　4. 特殊加工 5. NC 工作機械　6. 超精密加工	6日 (12単位)
	塑性加工技術	地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 経営企画本部　経営企画監 白川 信彦	素材の製造から製品の生産にいたるまで、ものづくりにおいて重要な役割を果たしている塑性加工の実際技術を中心に、各種加工法の概論を解説する。 1. 塑性加工の基礎　2. 材料の組織と加工　3. 各種塑性加工法 4. プレス加工機械と安全　5. 金属プレス加工用材料 6. 金型材料と表面処理　7. 塑性加工とCAE	5日 (10単位)
	熱処理技術	大阪府立大学 大学院 工学研究科 マテリアル工学 教授　金野 泰幸	金属材料の熱処理による材質調整の基本原理を平易に解説する。また、鉄鋼および非鉄金属材料で行われる代表的な熱処理の手法と仕組みについても説明する。 1. 熱処理による性質の変化、平衡状態図 2. 各種金属材料と一般的な熱処理法 3. 表面硬化法、熱処理欠陥、熱処理装置と周辺技術、材料検査法	3日 (6単位)
	表面処理技術	地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 金属表面処理研究部 部長 中出 卓男	表面処理技術は、素材表面を加工することで様々な表面機能性を付与するものである。本講義では、湿式めっきを中心として、各種めっきの特徴や適用例、評価方法などを解説する。 1. めっきの基礎　2. めっき皮膜の表面機能性と用途 3. めっきによる防食メカニズム　4. めっきの評価法 5. めっき以外の表面処理　6. 腐食防食の基礎	3日 (6単位)
電気工学	電気工学基礎	大阪府立大学 大学院 工学研究科 電気情報システム工学 教授　石亀 篤司	各種電気現象の原理を整理しながら、電気工学の基礎である電気回路の理論を平易に講述する。また、その応用として電力工学の基礎についても述べる。 1. 電流・電圧・抵抗　2. 電磁誘導　3. 交流の性質と回路 4. 電気機器　5. 発送配電　6. 電力システム	7日 (14単位)
	シーケンス制御	大阪府立大学 大学院 工学研究科 知能情報工学 教授　吉岡 理文	自動制御の基礎について解説するとともに、主としてシーケンス制御に用いられる各種の電子回路・機器について動作・機能を説明し、応用例により理解を深める。 1. 自動制御の基礎　2. シーケンス制御用部品と素子 3. 論理回路　4. 制御の基本回路　5. シーケンス制御の応用	6日 (12単位)
生産工学	生産システム概論	大阪府立大学 大学院 人間社会システム科学研究科 教授　岩村 幸治	機械製品の生産システムおよび ICT 技術を用いた製品設計・生産プロセスを概説する。また、ナレッジマネジメントの手法を解説し、それに基づく簡単な演習を行う。 1. 機械製品の生産システム　2. ナレッジマネジメント演習	3日 (6単位)
	生産計画	大阪府立大学 大学院 人間社会システム科学研究科 教授　岩村 幸治	製品をライバル企業より早く・安く・高品質に生産するためには、効率の良い生産計画を作成する必要がある。この講義では、演習を通して生産計画の作成方法を学ぶ。 1. 線形計画法を用いた生産計画　2. 資材所要量計画 3. ラインバランシング　4. 生産スケジューリング	4日 (8単位)

単位数：1単位＝1時限（75分授業）　1日2時限ですので、例えば10単位の科目ですと5日間の授業となります。

講義科目Ⅱ〔特別講義〕

実務の場で活躍されているエキスパートの方々の実際的な講義を受け、豊かな技術素養を身につけます

テーマ	講師	講義の概要	日数（単位数）
製品開発	サナダ精工㈱ 代表取締役 眞田 和義	ものづくり企業が永続するために不可欠な新製品の開発。講義では家庭用プラスチック用品メーカーとしてバラエティーに富んだ製品を生み出し続ける同社の取り組み、製品開発における考え方について解説する。	1日 (2単位)
工業デザイン	大阪芸術大学 アートサイエンス学科 教授 中川 志信	近年企業の中でデザインが果たす役割がますます大きくなりつつある。そこで、次代のものづくりの担う方に知っていただきたい工業デザインの考え方について事例を交え解説する。	1日 (2単位)
3Dプリンタ	神戸電子専門学校 インダストリアルデザイン学科 川口 信之	製品開発の効率を大きく向上させる3DCADや3Dプリンタ。それらを企画開発やデザインへ活用するための基礎的な手法について、導入事例や作例紹介、デモンストレーションを交え解説する。	1日 (2単位)
知的財産権	ダイキン工業㈱ 法務・コンプライアンス・知財センター 知的財産グループ長 部長 弁理士 松本 宗久	特許・商標をはじめとする知的財産権制度について概括するとともに、技術者が新製品・新技術を開発し、販売する上で知っておくべき基本的事項とダイキン工業における実例を、特許を中心にわかりやすく解説する。	1日 (2単位)
IoT時代の生産革新	オムロン㈱ グローバルものづくり革新本部	インダストリー4.0 や IoT(Internet of Things)が関心を集めるなか、生産性向上への取り組みは今後どのような方向に進むのか。現在、製造現場で実践されている生産革新への取り組み事例の紹介とあわせ、今後の方向性を展望する。	1日 (2単位)
産業用ロボット	川崎重工業㈱ ロボットディビジョン 医療設計部長 亀山 篤	産業用ロボット技術の概要と開発の歴史を解説し、企業での導入事例を紹介。また、ロボットの今後について展望する。	1日 (2単位)

※特別講義は、講義科目Ⅰ（基礎・専門科目）の時間割に組み入れて実施します（時間帯は、午後6時～8時）

実習科目

ポリテクセンター関西または兵庫で実施

少人数編成の実習により、技能を身につけます

≪下記8コースより2コースを選択受講≫

実習コース名	実習内容	日数（単位数）
油空圧技術	油圧・空圧技術を体系的に講習。機器の構造と動作原理を解説したのち、回路作成と操作実習を行う。特にJIS記号の理解に重点を置き、回路図が読め、装置の動きがわかることを目標とする。	5日 (20単位)
ＮＣ旋盤	NC旋盤による切削加工技術を講習。数値制御、切削工具の知識を身につけるとともに、マニュアルプログラミングの演習、サンプルワークのプログラミングと切削加工実習を通して、NC旋盤の操作と関連技術を習得する。	5日 (20単位)
溶接技術	各種溶接技術を体系的に講習。鉄鋼、ステンレス鋼の溶接技術を理論的に解説したうえで、溶接機器の取扱い方から溶接作業（被覆アーク溶接、半自動アーク溶接、TIG溶接）の実習を行い、基礎技術力を身につける。	5日 (20単位)
電気回路	電気の基礎技術を講習。基本回路をはじめ、センサやオペアンプの特性と動作原理を理解し、それらを用いた増幅回路、演算回路などの作成を通して、アナログ回路全般の技術力を身につける。	5日 (20単位)
シーケンス制御	各種制御機器の仕組みと動作、シーケンス図の読み方・書き方を、有接点リレーシーケンス回路の配線実習を通して講習。自己保持、タイマー運転、インターロック、可逆運転回路等の習得を図る。	5日 (20単位)
機械製図	実機械製図、設計技法を体系的に講習。図面の役割と種類、図面の読み方を解説したのち、JIS機械製図法にもとづく製図実習を行い、図面の描き方を習得する。併せて、最近のJIS・ISOの動向を理解する。	5日 (20単位)
2次元CAD	2次元 CAD のコマンドの使い方と図面の描き方（図形作成、図形編集、寸法記入、文字記入、図形登録、出図など）を習得し、簡単な機械図面を作成。また、実践に役立つ応用的な利用法を身につける。	5日 (20単位)
3次元CAD	ソリッドモデラのモデリング（スケッチ、拘束、立体作成、フィーチャ作成等）からアッセンブリ、2次元図面への落とし込みまで、3次元 CAD の技法を体系的に習得する。	5日 (20単位)

※ 各自の希望により、このうち2コースを選択して受講していただきます。
※ 実習科目の実施は、月曜～金曜の5日間／各日とも午前9時15分～午後4時です。
※ オプションで、さらに1コース追加で選択できます（別途、受講費が必要です）。状況により、コース追加のご要望に沿えないことがございます。

見学科目（工場見学ならびに技術講義）

講義・実習で学んだ技術が、実際の工場（一部研究機関）でどのように活かされているかを見聞します
あわせて、見学先の担当者・技術者ならびに研修生同士の相互意見交流を行います。

見学先	関連講義	研修内容	日数（単位数）
㈱酉島製作所	流体力学 塑性加工技術	鋳造、機械加工から組立、仕上げ加工まで、ポンプの一貫製造工程を実地に見学する。	1日（2単位）
㈱カシフジ	機械要素設計	歯車を加工する機械、ホブ盤の製造工程を見学するとともに、歯車の種類、その使われ方について学ぶ。あわせて、高精度の歯車を作るための加工技術を知る。	1日（2単位）
モリ工業㈱	金属材料	ステンレス管、鋼管等の一貫生産システム（圧延造管・切断）を見学、ステンレスの材料特性およびその応用製品の開発・製造の実際を学ぶ。	1日（2単位）
㈱三社電機製作所	電気工学基礎 シーケンス制御	大型の電源装置などの組立工程を見学するとともに、パワーエレクトロニクス技術の基礎について、講義を通して習得する。	1日（2単位）
京都機械工具㈱	切削加工技術 塑性加工技術	スパナ、レンチなど作業工具の製造工程（鍛造・機械加工・熱処理・めっき）を見学。あわせて工具の正しい使い方を学ぶ。	1日（2単位）
㈱東研サーモテック	熱処理技術	金属を加熱・冷却して硬度や性質を変化させる熱処理。製品の熱処理炉への投入、検査工程などを見学し、関連する技術知識を講義により習得する。	1日（2単位）
ダイキン工業㈱	生産システム概論	空調機（エアコン）の生産工程を見学。多種多様な製品を効率よく生産する仕組みや、工場における環境への配慮、最新省エネ技術について学ぶ。	1日（2単位）
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所	---	高度な基盤技術を活用して中小企業の技術支援を行う研究機関。数か所の研究部門を訪問し、最新の研究動向について見学と解説を行う。	1日（2単位）

※ 見学研修の実施時間は、おおむね午後1時30分～4時30分です。
※ 見学先企業と同業、競合関係にある会社の方は工場見学に参加できない場合があります。
※ 突発的な都合により、見学先等を変更する可能性があります。

修了記念旅行

すべての研修が修了する２月下旬から３月上旬に、１泊２日で修了記念旅行を行います。バスで大阪を出発して愛知方面に向かい、３社の工場を訪問します。普段なかなか見る機会のない製造業のリーディングカンパニーを訪れ見聞を広げていただきます。また、１年間苦楽をともにしたクラスメートとの絆がより強いものになるでしょう。

過去の見学先

トヨタ自動車
三菱電機
デンソー
DMG 森精機
川崎重工業
CKD
：

修了式

３月下旬には修了式を開催します。１年間にわたる日々の研鑽とたゆまぬ努力を讃え、研修生一人一人に当協会会長名による修了証書を授与します。大阪府商工労働部、大阪府立大学よりのご来賓、および当協会役員も列席し、新たな一歩を踏み出す研修生を大いなる期待を込めて送り出します。研修生の上司など派遣企業の皆様もぜひご出席ください。

成績が優秀な方、すべての研修科目に休まず出席された方には、修了証書とは別に表彰状が授与されます。

募集要項

第61期　大阪府工業技術大学講座

方 針

企業における技術人材育成のため、工科系大学に準じ、工学基礎知識から応用技術に至るまで教育指導。さらに、実習・見学研修により実践力・技術開発能力を修得させる。

期 間

1年間〔2021年4月5日（月）開講～2022年3月修了〕

対 象

（1）原則として企業に勤務し、事業主の推薦ならびに保証のある者
（2）一年間を通して、職務と研修を両立させ技術修得に励む意欲のある者

（ご参考）例年、研修生の平均年齢は 28 歳前後。
学歴で見ると、半数が大学卒（うち文系・理系がほぼ半々）、あと半数が高校または専門学校卒の方です。担当職務は、開発・設計等の技術職から製造、生産管理、品質保証、調達まで幅広く、営業の方もおられます。

講座概要

①講義科目　週3日（月・水・金曜日の夜間　1日2時限）
第1時限　18:00～19:15
第2時限　19:25～20:40

●基礎・専門科目…22科目
106日間・212単位（1単位＝1時限・75分授業）
科目ごとに試験を実施し成績評価を行います

●特別講義科目……6科目・6日間

＊会場 … 大阪府工業協会 研修室
大阪市中央区南本町2丁目6-12 サンマリオンNBFタワー4階
（地下鉄 御堂筋線「本町」駅　9番出口より徒歩約4分
堺筋線・中央線「堺筋本町」駅　8番出口より徒歩約3分）

《会場案内図》

②実習科目　本人の希望により2コースを選択受講　計10日間
1コース5日間（月～金曜日の午前9時15分～午後4時15分）
＊実施日程は別途お知らせします。
＊会場 … ポリテクセンター兵庫（尼崎市）またはポリテクセンター関西（摂津市）

③見学科目　工場ならびに研究機関を8拠点見学　計8日間
（概ね火・木曜日の午後1時30分～4時30分に実施）

定 員

50名（先着順に受付いたします）

費 用

1名につき　396,000円（受講費　360,000円＋消費税　36,000円）
※授業料のほか教科書・教材費、実習受講費も含まれています。
実習科目を1コース追加される場合、別途20,000円（税抜）が必要となります。
［振込先］・三井住友銀行 備後町支店 当座 No. 201068　・三菱UFJ銀行 信濃橋支店 当座 No. 321966　・りそな銀行 大阪営業部 当座 No. 1027054

修了要件

全研修日数の6割以上に出席、かつ試験（講義科目）の得点合計が満点の6割以上であること。
＊出席数と試験成績の両方の条件を満たした方には、公益社団法人大阪府工業協会会長による修了証書を授与します。

表 彰

成績優秀者には、大阪府知事より表彰状が授与されます。
成績優良者、皆出席者には公益社団法人大阪府工業協会会長による表彰状を授与します。

申込方法

別紙受講申込書に必要事項をご記入（代表者名で押印）のうえ、事務局宛てに郵送してください。
申込書受付後、開講通知書および ①受講費の請求書 ②教科書引渡し等の案内を電子ファイルでお送りいたします。　※受講費は原則として3月末日までにお支払いください。

受講申込書にご記入いただく個人情報を含む内容は、本講座運営の目的以外に使用することはございません。
授業を進めるにあたっての参考とするため、講師や見学先に対して、受講者の氏名、年齢、最終学歴、担当職務を提示しますが、講師ならびに見学先以外にこれらの情報を提供することはございません。
ただし、会社名、部署・役職名、氏名、事業内容を一覧にした受講者名簿は、研修生および派遣事業主に配付します。

申込期限

2021年3月末日　※但し、定員に達し次第、締め切りとなりますので、お早めにお申し込みください。

No.8311-0889 TK

主 催（事務局）

公益社団法人 大阪府工業協会

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-6-12 サンマリオンNBFタワー4階
TEL：06-6251-1138 ／ FAX：06-6245-9926

第61期　大阪府工業技術大学講座
（2021 年度）
受 講 申 込 書

本人	氏　　名	ふりがな	年齢	2021 年4 月1 日現在で （満　　歳）
	最 終 学 歴	例）○○県立○○高校○○科、○○大学○○学部○○学科		
	所 属 部 課 名 （役職名も）		勤続年数	年
	担 当 職 務 （具体的に）			

記入していただく内容のうち、氏名・年齢・担当職務の情報は授業を進めるにあたっての参考とするため、講師に提示します。
講師ならびに見学研修で訪問する企業や研究機関以外にこれらの情報を提供することはございません。

派遣企業	会　社　名	ふりがな
	代　表　者	職名　　氏名
	本 社 所 在 地 (1)	(〒　　)　電話番号　　(　　)
	研 修 生 の 勤務先所在地 (2)	(〒　　)
	規　　模	(資本金　　万円)　　(従業員　　名)
	事 業 内 容 主 要 製 品 等	
	事務連絡担当者	職名　　氏名　ふりがな
		ＴＥＬ　(　　)　／ＦＡＸ　(　　)
		E-mail
		所在地…（1）本社と同じ　（2）研修生勤務先と同じ （3）異なる→（〒　　）（　　）

ご記入いただいた情報は、本講座運営の目的以外に使用することはございません。

上記のとおり受講申し込みいたします。

公益社団法人 大阪府工業協会　御中

年　　月　　日

会 社 名

代表者名　　印